

(様式3)

日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価（計画）シート

設置主体	名称	株式会社 UNIS	報告日	令和6年12月23日
	所在地	鹿児島県鹿屋市古前城町2-20 Biorlda M201		
事業所	名称	障がい者グループホーム ユニテラスはやと	評価日	令和7年3月3日
	所在地	鹿児島県霧島市隼人町真孝870番3		

事業所の運営方針	(運営規程の抜粋等を記入) ① 事業所は、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況及びその置かれている環境に応じて、共同生活援助において相談その他日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 ② 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。 ③ 事業所は、利用者の人権の養護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、従業員に対し、研修を実施する等の措置を講ずるものとする。 ④ 前3項の他、関係法令等を遵守し、事業を実施するものとする。
----------	--

事業内容 (利用者や職員の配置等はすべて想定となります。)	○事業所開設日 令和7年6月1日(予定) ○配置職員数 管理者1人、サービス管理責任者1人、世話人12人、生活支援員 4人、 夜間支援従業者4人(想定) ○利用定員 共同生活援助 20人、短期入所定員4人 ○利用者数 20人 (10人×2ユニット) 内訳 障害支援区分 非該当 人、区分1 2人、区分2 2人、区分3 4人、 区分4 4人、区分5 4人、区分6 4人 年齢 29歳まで 4人、30歳代 4人、40歳代 4人、 50歳代 4人、60歳以上 4人
----------------------------------	---

項目	評価の視点	事業所記入欄(具体的な内容)	協議会記入欄(要望、助言、評価) 【問題がない場合は□にチェック】
地域に関わ れた運営	実習生やボランティアを受け入れているか。	(受入人数) 4人/年間(想定) (受入計画) ・地元小中学校等の職業体験の受け入れ。 ・地元小中学校等のボランティアの受け入れ	☒ 問題なし
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の計画) ・地域住民も参加可能な行事の実施(夏祭り等) ・地域住民(町内会長や民生委員等)を含めた運営推進会議の開催	☒ 問題なし

短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(利用者数) 10人/月(想定) 利用日の希望日が重ならない限り、積極的に利用者を受け入れる。短期入所が4部屋あることから、希望日の重複も少ないことが考えられる。	☒ 問題なし
	緊急的利用のニーズに対応しているか。	(緊急受入人数) 10人/月(想定) (緊急受入計画) 在宅の障害者の家族が急遽入院になってしまい、介助をする方がいなくなってしまう場合等。	☒ 問題なし

項目	評価の視点	事業所記入欄(具体的な内容)	協議会記入欄(要望、助言、評価) 【問題がない場合は□にチェック】
常時の支援体制	日中、土日を含めた常時の支援体制の確保	(体制等計画) ・土日祝日問わず、24時間365日の職員の配置。 ・看護師も平日日勤帯は配置予定。	☒ 問題なし 委員：日中の職員配置は、1ユニット10人に対してどれぐらいの配置か。 UNIS：日中は世話人が2人、その他に生活支援員、看護師、管理者などを配置する予定。 委員：日中2人で夜間は1人か。 UNIS：そのとおり。 委員：看護師も平日日勤帯は配置予定ということか。

			UNIS：そのとおり。 委員：看護師の平日日勤帯の配置予定は、2ページの配置職員数の資料の中には無いようだが。 UNIS：加算を取るわけではないため、この世話人の中に看護師が含まれる。 委員：日中1ユニットは2人の方が世話人で、生活支援員はまた別にいて管理者がいるということで、実質大体4人か。 UNIS：そのとおり。 委員（助言）：区分5区分6で重症の方を多く受け入れるので、大変だろうと思う。特にけが等のリスクや、転倒には十分注意する必要がある。また、区分6の方がこれだけ多くいらっしゃると、夜間の看護師の配置も検討されてはどうか。 UNIS：今後医療的ニーズが多い方が多ければ、看護師の加算をとり、看護師の配置も手厚くしていきたい。
支援の実施	重度化・高齢化等で日中をホーム内で過ごす利用者への支援はどのようにしているのか。	（支援内容の計画） ・入浴、排せつ（オムツ交換等含む）、食事介助 ・洗濯、炊事、掃除等の支援 ・医療ニーズがある方への医療機関等との連携	☒ 問題なし 委員：風呂と日中の活動が可能なのか不安であるが。 UNIS：1ユニットごとなので、割と手厚い配置であるとは感じている。その中で見守りの必要がある方が多くなったりすると少し難しいと

			ころがあると思うので、バランスを考えながら入居者の方を受け入れたい。
	利用者が充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援に努めているか。	（外出や余暇活動の計画） ・季節ごとのイベント（お花見等） ・創作活動や各種体操等のレクレーション	☑ 問題なし
	支援の質の確保に努めているか。（資格取得、研修等）	（取得した資格、参加した研修名とその人数等） ・サービス管理責任者実践研修（想定） ・介護福祉士（想定） ・強度行動障害研修（想定）	☑ 問題なし
	体験的利用のニーズに対応しているか。	（体験利用人数） 20人/年（想定） （体験利用の計画） 入居後の行き違いがないように、全員の方に体験利用をしてからの入居を実施予定	☑ 問題なし

項目	評価の視点	事業所記入欄（具体的な内容）	協議会記入欄（要望、助言、評価） 【問題がない場合は□にチェック】
適切な支援 の提供	指定計画相談支援 事業者を別法人等 で確保しているか	（別法人等の指定計画相談支援事業所の確保） 別法人等の計画相談の確保（ 20 ）人中（ 20 ）人 （確保している主な計画相談事業所） 相談支援事業所を利用している方は、引き続き、利用を行うが、それ以外の方については、相談支援事業所を紹介する。	☒ 問題なし
その他	事業所で上記の項目の他、又は独自で取り組んでいることはあるか。	（取組内容等） ・ こども食堂の実施（予定） ・ 管理者（代表者）が作業療法士の為、日常のリハビリ訓練等を行い、ADLの向上につなげる。	☒ 問題なし 委員：「管理者が作業療法士のため」と書いているが、障害を持った人をサポートするためには、このような資格もたくさんあるのではないかと思う。理学療法士であったり、言語の資格であったり、作業療法以外の部分も可能なのか。 U N I S：作業療法士以外で、例えば吸引が出てきた場合は、外部の訪問看護を利用するとか訪問診療などで対応しようと考えている。また、本格的なリハビリの希望

			があれば訪問リハビリも考えている。 委員：すでに日中サービス支援型共同生活援助を提供している実績はあるか。 UNIS：鹿屋市では、実際現場ではないが、私が事務関係の仕事で携わっている。
協議会からの要望・助言への対応（2回目以降）	要望、助言に誠実に対応しているか。	（要望・助言の内容及びその対応） 誠実に対応する	☐ 問題なし

※事業指定の申請の際は、「事例」を「計画」と記載してください。